

RSウイルス感染症 に注意しましょう！

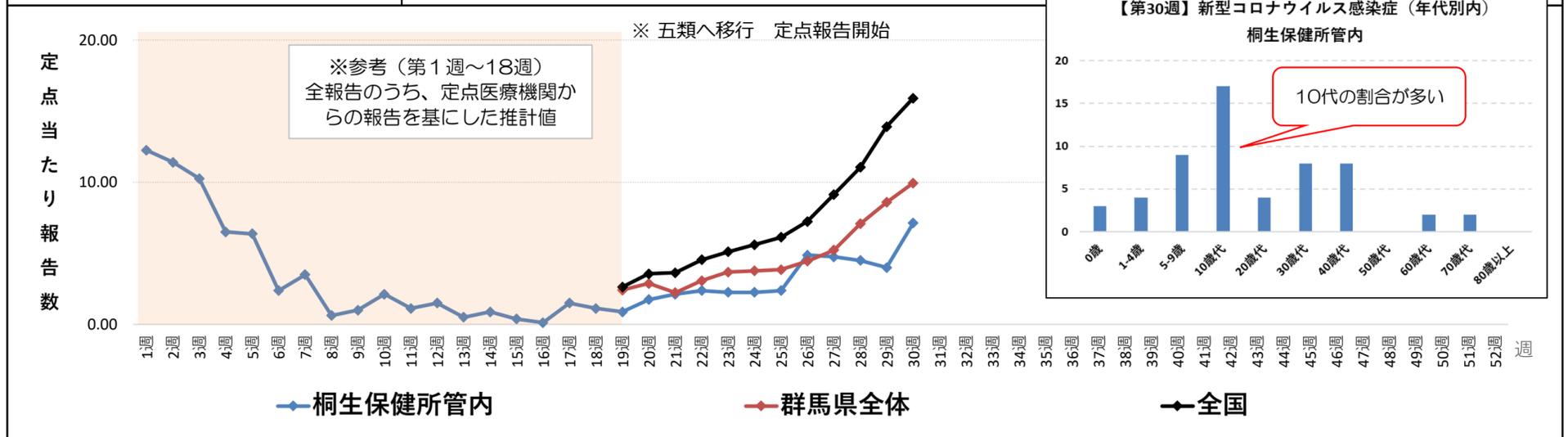
- 2021年以降、春から初夏に継続した増加がみられ、夏にピークを認めています。
- 原因となるRSウイルスは、接触感染、飛沫感染で広がり、2歳頃までにほぼ全員が少なくとも1度は感染すると言われています。
- 発熱、鼻水、咳などの風邪様症状が数日続き、多くは軽症で回復しますが、重症化した場合には肺炎や細気管支炎などを引き起こします（乳幼児における肺炎の50%、細気管支炎の50~90%を占めるとされています）。特に、生後6ヶ月以内の新生児、乳児への感染や、低出生体重児、心肺系などに基礎疾患がある場合や免疫不全がある場合には重症化の可能性が高まります。
- 鼻水、咳などの症状がある場合はマスクを着用しましょう。日頃から、石けんでの手洗いやアルコールで手指衛生を保ち、子どもが日常的に触れるおもちゃなどは定期的に消毒しましょう。



【注目疾患】

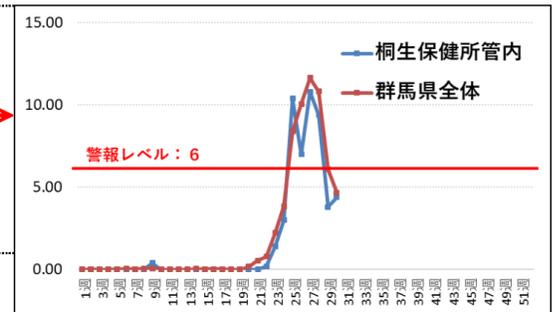
◎新型コロナウイルス感染症

全国水準を下回っているものの、群馬県全体の報告は9週連続で増加しています。桐生保健所管内の定点当たり報告数も、30週に「7.13」と増加しました。中では、10代の感染割合が目立ちます。



◎その他感染症：

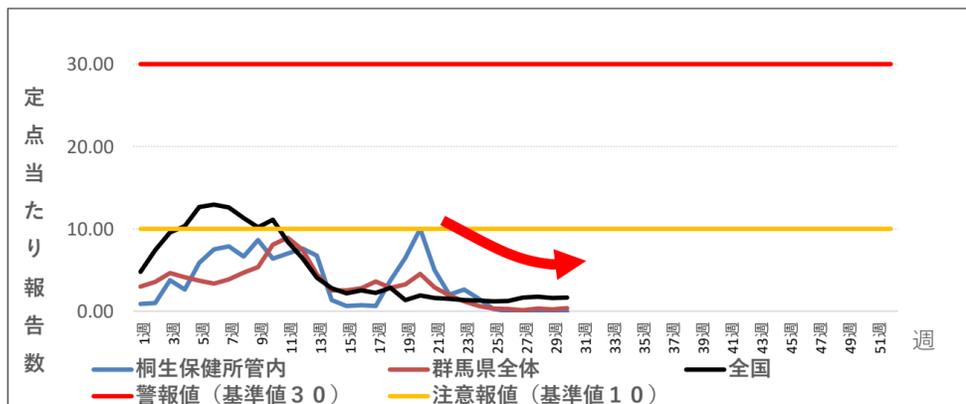
ヘルパンギーナがピークを越えましたが、警報発令継続中です！ → →
原因となるウイルスは、アルコールが効きにくいため手指は石けんと流水でよく洗い、タオルの共用は避けましょう。



【管内の主な感染症発生動向】

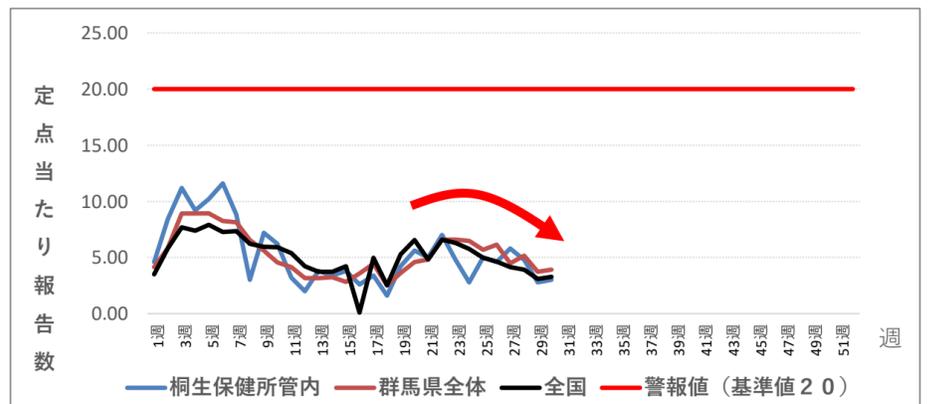
◎インフルエンザ：

桐生保健所管内では、28~30週に定点からインフルエンザの報告はありませんでしたが、県内の一部では感染の報告が継続しています。



◎感染性胃腸炎：

報告が継続しています。汚染された手・食品・水などを通じて口から感染するので、ふん便や嘔吐物を処理するときは、使い捨て手袋を着用し慎重に行いましょう。



※ 感染症法に基づき実施されている感染症発生動向調査（群馬県）のデータを元に集計・作成しています

★より詳しい情報は群馬県ホームページで公開しています★

「群馬県感染症情報」で検索するか、以下URLもしくはQRコードからご確認ください。
<https://www.pref.gunma.jp/page/3296.html>



★ 毎月第1・第3月曜日発行

（問い合わせ先）
桐生保健福祉事務所 保健係
電話：0277-53-4131